

2022年度 放課後等デイサービス「ぼしゅっと」評価表 結果報告 【事業所】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	対応・対策
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広いスペースを確保と外活動も取り入れているため、十分なスペースで活動が出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			設置基準、加算取得の基準は当然満たしている。より決め細かい支援を行うためには、職員数を増やしたいが、費用と応募がない。
	③	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		毎年記入しているが、段差も機能訓練の一つとしてとらえている。
業務改善	④	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティング等で日常的に話し合われている。職員会議でも振り返りを実施。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			実施し、頂いた評価、意見は真摯に受け止め、改善を図りたい。
	⑥	この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者評価は導入していないが、常に関われた事業所を運営を心がけている。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	○			必須研修に限らず、必要な研修を随時行っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成しているか	○			日々のコミュニケーション、様子や面談での話をもとにし、全職員からの話も聞きながら計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメント様式を統一しているが、今年度委員会等の業務が増え、丁寧なアセスメントに至っていない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングで日々子どもたちの様子を確認しながら活動のプランを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同上。 個々に必要と思われる活動を柔軟に取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか		○		特に、利用形態に応じて課題を定めることは行っていないが、長い時間の利用時には計画をより深めることを心がけている。
	⑭	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	○			事業所の特色として、集団の力を活用した個別支援がある。個々の状況に応じて、子どもたちの関係性を活かしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、活動前1時間程度のミーティングを実施。
関係機 関や保 護者との 連携関係	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点を共有しているか	○			送迎等があるため、活動終了後の打ち合わせはできないが、記録を残したり、翌日のミーティングで確認する等の作業を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証改善につなげているか	○			記録の記入はもちろん、記録を読むことも大事にしその上での情報交換や支援の見直しを行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い計画の見直しの必要性を判断しているか		○		通常、職員会議で日々のミーティングよりも深い子どもの振り返りと支援の見直しを行っている。
	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか		○		関係者会議が放課後に開催されるため、出席できない事がある。その場合は、文書等で状況を報告するようにしている。
	⑳	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○			主に下校時間の引継ぎの時間を使って行っている。必要に応じて関係者会議への出席、情報交換。
	㉑	就学前に利用していた保育所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学前の情報を聞いても、実際に利用を開始した後に違う様子を見せる。そのため、全ての子に実施はしておらず、必要に応じて実施している。
保護者への 説明責任	㉒	学校を卒業し福祉サービス事業所へ移行する場合、支援内容の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて情報の提供を行っている。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか		○		連携の必要性が出たら連携したい。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか			○	機会を設定することは無いが、外活動の際には地域の子たちとの接点がある。
	㉕	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			市内の放デイの集まり、県内の放デイの団体には所属をしている。市の自立支援協議会のイベントにも参加している。
	㉖	日頃から子どもの情報を伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			共通理解が持てるよう研修や振り返り、情報の交換を行っている。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入室時に伝え、面談時に変更点等を伝えている。
	㉘	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの話は可能な限り聞き取るようにしている。
非常時の 対応	㉙	父母会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	○			親子レクの開催、保護者交流会の実施。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			基本的に苦情はないが、要望等には迅速に対応を心がけている。
	㉛	定期的に会報を発行し活動概要や行事予定連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログや広報等を使って活動の発信を実施。
	㉜	個人情報に十分に注意しているか	○			日々、確認し実施。
	㉝	障害のある子や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に方法を調整している。
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業所運営をしているか	○			下校、外活動を大事している。広報の配布等、地域の方との接点を持つようにしている。
非常時の 対応	㉟	緊急時対応マニュアル等を策定し職員保護者に周知しているか	○			入室時、面談時に配布している。
	㊱	非常災害時に備え定期的に避難訓練を行っているか		○		実施。
	㊲	虐待を防止するために職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○			チェックリストの確認。研修、委員会。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で計画に記載しているか	○			身体拘束は行っていない。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか		○		医師の指示書は預かっていないが、保護者の指示の元行っている。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	○			日々のヒヤリハットをミーティングで共有し、毎月一覧にして配布することで再確認。